



## ゆいぐみだより

2017年 1月 第4号

あけましておめでとうございます

子ども達の元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。寒さが一段と身に染みる季節となりましたが、白い息を吐きながらも子ども達は園庭を走り回っています。寒い日には、お部屋であやとりやかるたなど昔ながらの遊びも楽しんでいます。

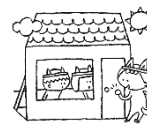
早いもので今年度も残り3ヶ月となりました。子ども達と楽しい思い出が出来るように、一日一日を大切に過ごして行きたいと思えます。

## 丈夫な体づくり！！



毎朝マラソンやなわとびに楽しく取り組んでいます。中でもなわとびに夢中で「100回跳ぶぞ！」と張り切る子や、後ろ跳びやあやとび、二重跳びにも挑戦する子もいます。二重跳びはまだ難しく「見てね」と言ってみせてくれるのですが、必死に回して跳んでいるのが伝わってくるのでなんとも可愛らしいです。私が二重跳びをやってみせると「すごい！」「天才」と拍手がわきました。二重跳びへの憧れは大きいようです。

昨年までは5回跳ぶのが精一杯だった子が50回跳べるようになったり、100回以上跳べる子も増えてきました。中には「目指せ1000回」と大きな目標を掲げる子もいます。最近では「マラソン頑張ったら体力付く」「お肉もお野菜も食べたら力もりもりになる」と子ども達から会話が聞こえてくるので、日々丈夫な体づくりをクラス全員で心掛けています。



## 劇☆ブレーメンの音楽隊



10月に『ブレーメンの音楽隊』の絵本の読み聞かせを行うと大人気だったこともあり、クリスマス会の劇は『ブレーメンの音楽隊』に決定しました。

まずは、みんなで話し合っ役を決めました。1番人気だったのはロバ役でした。ロバ役が6人になってしまったのでどうなるのかと思いましたが、「じゃあ私(僕)ドロボーになるね」「〇〇ちゃん(くん)かわいそうだから助けるね」と子ども達で話し合い、あっという間に決まりました。

いざ劇の練習を始めると、歌の振り付けも子ども達でアイデアを出し合ったり「ここはこうした方がいいかな？」と相談しながら進めていました。台詞の覚えも早く、練習を始めて3回目程でほとんど覚えていたので驚いてしまいました。はじめは小さな声だった子も、自信が付いてくると大きな声でハキハキ話せるようになり、みるみるうちに上達していきました。

クリスマス会当日、ほとんどの子が緊張していましたが、歌・合奏・遊戯・プログラム発表と、緊張を乗り越え良く頑張った子ども達の表情はとても生き生きしていました。最後の劇の番になると「頑張るぞ」と友達と意気込んだり、深呼吸をする子もいました。沢山のお客さんを前に、練習の時と同じように大きな声で歌を歌ったり、台詞を言っている姿はとても立派でした。間違えて友達の台詞を言ってしまった子は「まちがえちゃった…」と落ち込んでいたのですが、誰も責める子はいませんでした。「間違えは誰にでもあるから大丈夫だよ」「気にしなくていいんだよ」「最初から出来る人なんていないんだよ」と、まるで大人のように励ましている姿に心の成長も感じました。

クリスマス会が終わった今でも遊びの中で劇ごっこを楽しんでいるので、子ども達にとっても印象に残るクリスマス会になったのではないかと思います。沢山のご声援を頂き、ありがとうございました。